



中津川のサケを地域の資源に

～ワークショップを開催します～

盛岡では、秋になると中津川に遡上するサケの姿を橋などから眺める人々の風景が秋の風物詩となっています。

中津川に遡上するサケは、宮城県の北上川河口から約200kmもの距離を遡上し、これだけ離れた県庁所在地の市街地でサケの姿を見られるところは、全国でも他に例がありません。

盛岡市と岩手河川国道事務所の協働により進めている「盛岡地区かわまちづくり」において組織している「盛岡地区かわまち勉強会」では、この中津川に遡上するサケを資源としたまちおこしの取り組みを検討しております。

この一環として、中津川のサケを題材とした広報ツールを作成することとして、作成に向けたワークショップを開催します。

ワークショップは、「盛岡地区かわまち勉強会」のメンバーを中心に、地域で活動されている方などへの呼びかけにより実施します。

1) 実施日時

平成28年11月24日(木) 13時00分～16時00分

2) 実施場所

盛岡市中央公民館 大会議室(盛岡市愛宕町14-1)

3) 実施内容

- ・中津川に遡上するサケに関する情報収集
- ・広報ツール作成に向けた意見交換
- ・今後の進め方

《発表記者会：岩手県政記者クラブ》

<問い合わせ先>

国土交通省 東北地方整備局 岩手河川国道事務所

副所長(河川) みうら よしあき 三浦 義昭

建設専門官 うるしはら かずや 漆原 和也

〒020-0066 岩手県盛岡市上田四丁目2-2

TEL (代表) 019-624-3131 (工務第一課直通) 019-624-3198

<盛岡地区かわまち勉強会とは>

まちと水辺が融合した良好な空間形成を目的に、盛岡市と岩手河川国道事務所の協働により整備を進めている「盛岡地区かわまちづくり」の推進に向け、市民と行政との協働・連携方策について意見交換を行うため、地域で活動している方々を中心に構成されたもの



中津川に遡上してきたサケ



橋の上からサケの姿を覗きこむ人々



サケの稚魚放流の様子